

オーサーシップに関するQ&A

オーサーシップについての判断基準が国内外において従来よりも厳しくなり、掲載論文の撤回等も行われることもある現状を踏まえ、また判断基準が時代・学問分野・ジャーナル等により異なることから、日本金属学会誌および **Materials Transactions** への不適切なオーサーシップを防止するために、オーサーシップに関する Q&A を作成しました。熟読して適切なオーサーシップに基づく論文投稿をお願いします。

(講演大会発表)

Q: 講演大会で発表した内容を基に原著論文を作成しました。著者および著者の記載順を講演大会発表と変更することはできますか？

A: 講演大会の発表は、通常、当該研究の中間的な発表であり、その後内容を追加して原著論文に仕上げる場合が多いと思われます。この場合には講演発表内容とは異なる内容が含まれますので、その内容に係る著者の追加や著者記載順を変更しても構いません。

(査読対応)

Q: 査読中に指摘された内容を原著論文に追加、または削除したため、著者を追加または削除することはできますか？

A: 原則として、著者の変更は認めません。やむを得ず著者の追加・削除・著者記載順の変更が必要な場合には、編集委員会に理由および著者全員の同意の署名を添えて申し出てください。論文修正時に追加された内容に関する貢献が大きい著者の追加等、編集委員会で認められれば可能ですが、第1著者の変更はできません。なお、追加あるいは削除された内容によっては再投稿として扱われることがあります。

また、審査終了後、掲載可と判定された論文の著者変更は、一切認められません。

(実験者の著者)

Q: 論文の内容は実験手法に関するもので、実験手法のアイデアを考え出した技術補助者を著者に加えたいのですが？

A: 通常の場合、単なる実験のみの遂行者は著者に加えるのは望ましくありませんが、このように実験手法そのものに関する研究であり、かつそのアイデアが当該論文の重要な位置を占めるのであれば、共著者に加えても構いません。論文毎に事情は異なると思われます。

(多すぎる著者数)

Q: 大規模なグループ研究の原著論文なので、著者30名を記載したいのですが？

A: 通常、原著論文は1論文で完結することおよび掲載頁数の制限により掲載内容が制限されることから、その内容に直接的に貢献した著者に限定すべきであると思われます。いわゆる資金提供者や資金申請・獲得者であることや単なる上司であることを理由に著者に加えるのは **gift authorship** に該当し、できません。なお、軽微な貢献等について、謝辞に記載することは可能です。

(少なすぎる著者数)

Q: 論文の大半は一人でやったので著者は1人にしたいのですが？

A: 当該研究が、例えばコンピューター計算を一人で行い、かつ論文の作成においても一人で行った場合は可能です。しかし、研究内容について本質的な議論など別の人と行ってその内容が論文に記載されていたり、別の人のアイデアを参考に論文に記載した場合は、その貢献度に応じて著者に加えたり、謝辞に適切に記載する必要があります。そうしない場合はアイデアの盗用などのミスコンダクトであると誤解される可能性を排除できません。

(掲載済み論文と同一内容の論文の著者に関わる変更)

Q: 和文掲載済み論文の英文論文(あるいは、その反対に英文掲載済み論文の和文論文)で、著者を変更できますか？

A: 和文掲載済み論文の英文論文(あるいは、その反対に英文掲載済み論文の和文論文)の投稿は、著者および内容が基本的に同一であることが投稿の条件となっておりますので、できません。

注意事項

1. この Q&A は、公開 3 か月後以降に日本金属学会誌および **Materials Transactions** に投稿された論文に適用します。過去の日本金属学会誌および **Materials Transactions** 掲載論文や他のジャーナル掲載論文には適用されません。

2. この Q&A の内容は、改善のため、予告なく改訂される場合があります。

2014 年 11 月 1 日作成

2018 年 3 月 1 日改訂（掲載済み論文と同一内容の論文の著者に関わる変更）